

第1回 洋上風力発電施設検討委員会  
議事概要

1. 日時： 令和2年2月14日（金）10:00～11:30
2. 場所： TKP 新橋会議室 ホール1C
3. 出席者： 委員等名簿参照
4. 議事概要

委員による主な意見は、以下のとおり。

- (1) 「洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説」の改定方針について
  - IEC 基準の地震時に作用させる風荷重3種（定格風速時における通常発電中の平均荷重、定格風速時における緊急停止の荷重、無風時のアイドリングまたは待機状態及びカットアウト風速時の荷重）について記載いただきたい。
  - IEC 基準には、再現期間475年（極稀と同等）に対する地震の荷重係数は1.0と記載があるので明記いただきたい。
  - 地盤調査について、日本で多用されているSPT（標準貫入試験：Standard Penetration Test）だけでなく、欧州のCPT（コーン貫入試験：Cone Penetration Test）等方法が様々あるので、整合性を取るよう整理していただきたい。また、沖合に行くと、工学的基盤として、せん断波速度（S波速度： $V_s$ ）=400m/sの層まで調査することが困難になることが予想されるので、記述に注意いただきたい。
  - 着床式の構造形式の例示と同様に、IEC 基準に例示されている浮体式の構造形式と整合をとるよう3種類の構造形式（セミサブ、スパー、TLP）を記載いただきたい。
- (2) 「港湾における洋上風力発電設備の施工に関する審査の指針」、「洋上風力発電設備の維持管理に関する統一的解説」の改定方針について
  - 洋上に設置前に、タワーのような片持ち梁の構造物が港湾に大量に並べられた時、その安全性をどのように要求するかということを引き続き研究いただきたい。

以上